

まえがき

スキルス胃がんステージⅣと告知された私の闘病記です。

2010年11月。44歳のとき、消化器内視鏡検査室で働く私が、胃がんを告知されました。

手術まで短期間で進む治療。ついていけない心理状況を細かく書きました。現在は患者会があり、告知されてから治療までの悩みなど相談できる環境があります。正しい情報を知って治療を受けてほしいと思います、その当時のことも書きました。

術後は難治性のスキルス胃がんステージⅣ。父親と同じ病気でした。抗がん剤治療もするという選択がなかった分、かなりのダメージを受けました。抗がん剤治療は副反応で苦しめられ、かなりつらいことばかりでした。支えてくれた人たちが私の周りにはたくさんいてくれました。

旦那の失職、同居している超我儘義母との確執もかなりつらかったです。現在、義母は施設に入り、旦那も再就職しています。再発したとき、再度抗がん剤治療を開始したときは本当にレベルゼロ状態でした。しかし、何度叩きのめされても、復活する自分もすごいと思いました。治療が終わっても、困難は続きます。食事のことや受診のことでトラブル発生。しかしそんな私を見捨てることなく、

拾ってくれた人たちがいたからこそ、術前と同じ職場で働いています。そんなこんなで、過ぎてみれば告知から十余年の年月が過ぎました。同じ病気で治療されている方、支えている方の参考になれば嬉しいです。